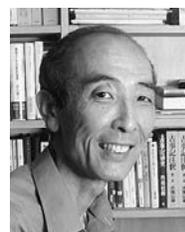


英語とのつきあい



長谷川 宏

わたしは英語を話すのと聞くのが苦手だ。娘が笑って言う。「お父さんはシェイクスピアやラッセルやヘミングウェイを原書で読むくせに、英会話となるとしどろもどろなんだから」と。高校時代に合衆国に留学した経験をもつ娘は、日常の英会話に不自由することがない。

わたしが中学・高校時代を過ごしたのは、1952年から58年にかけての6年間だ。敗戦後の貧困と混乱がまだまだ大きく日本社会を覆い、西洋の文化と精神にたいするあこがれが強く感じられていた時代だ。英語を学ぶことは、あこがれの西洋文化を理解するもっとも重要な、もっとも確実な手段の一つだ、などと言われ、若いわたしはその言葉を素直に受け入れていた。

その一方、アメリカ合衆国やイギリスは簡単に行けそうもない遠い国であり、そこに住む人びとと英語で話し合う場面など容易に想像できなかった。“This is a pen.”とか“I am a boy.”と大声で唱えるほやほやの入門段階でも、外国人のなかに混じって自分が英語をしゃべっている光景よりも、安楽椅子に坐って原書を読んでいる光景のほうが、現実性のあるものに感じられた。

それは、わたし一人の感覚や思いこみではなく、英語を学ぶ多くの人びとに共有される感覚であり、思いこみだった。読むことと書くことがまずあり、話すことと聞くことはずっと遠くにあるというのが、そのころの英語だった。大学受験に備えて難解な構文の理解や特殊な単語の暗記に精力を注いでいるとき、それが英会話に役立つとは思えなかった。

その結果、読み書きは英米人並みだが、話したり聞いたり不得手というおかしな人間が出来上がった。

わたしの同年配ではそんな人間が珍しくないと思うが、さて、英語の学びかたとしてそれはよかったのかどうか。

何年もかけて英語を学びながら、日常会話で英語が使いこなせないのはやはり寂しい。使いこなしている人を見ると、うらやましくもなる。うらやましが昂じると、原書を読むことに偏した自分の英語学習はなんと固苦しいものだったかとも思う。

が、その一方、日常会話ができることをもって足れりとしていたら、英語の学習はわたしの実際にたどった道筋とはまるでちがったものとなり、合衆国やヨーロッパの精神や文化への通路とはなりにくかったようにも思う。1950年代の学校教育によって道を開かれ、その後もさまざまな英語を読むという形で続くわたしの英語とのつきあいは、戦後という時代が要請し、わたしもなれば納得して踏みこんだ道であって、それはそれで意味のある一つのつきあいの形だったようにも思う。

時代は変わった。いまは、欧米の文化や精神を理解するための手段としてよりも、日常的なコミュニケーションの手段として英語を学ぼうとする人が圧倒的に多いだろう。読むこと書くこと以上に話すこと聞くことが重視されるのは自然の勢いだ。そのとき、振子が反対にふれて、今度は、話したり聞いたり得意だが、読んだり書いたり苦手という人がたくさん出てきほしないか。それはいいことなのか。教育のありかたとしても文化交流のありかたとしても、考えてみるべき問題だと思う。

(はせがわ ひろし・哲学者)



記録で記憶に残す、高校入学時からの辞書指導

——『ジーニアス英和辞典 第4版』を使って



大下晴美

本校では入学時に普通科の生徒全員に『ジーニアス英和辞典』を購入させている。これまでも良質の語法解説と多彩な用例が掲載されているという理由で、第3版を学校指定辞書としてきた。今回改訂された第4版はそのような長所を維持しながら、さらに「類語比較」欄、「文法」欄などの新たな項目が追加されており、採択の際、英語科教員全員一致で『ジーニアス英和辞典 第4版』を継続して学校指定辞書とすることが決定した。

■学校指定辞書設立の背景

辞書を学校指定で生徒全員に購入させることには賛否両論があるだろう。しかし、中学校の教科書には巻末に単語リストが掲載されており、多くの生徒が高校に入学するまで英語の学習において辞書を使用するという習慣がない。そのような生徒達が推薦辞書の中から辞書を選ぶ理由は、「一番薄かった（軽かった）から」とか、「カラフルだったから」であり、その内容を吟味して選ぶということはまずない。また、最近では電子辞書の普及により、「紙の辞書を必ず購入する必要があるのか」という問い合わせもある。しかしその際、私は「英語力を伸ばしたいと思うのであれば、紙の辞書を購入してください」と返答している。その理由については、後述することとする。

■オリエンテーションでの辞書指導

高等学校に入学して最初の授業で実施されるオリエンテーションで最も重要なことは、辞書指導である。これまで教科書の巻末の単語リストに依

存してきた生徒にとって、「どのように新出単語の意味を調べればいいのか」が高校での英語学習の最初の疑問であるだろう。そこで、オリエンテーションの際に、私は英語学習法5カ条を配布し、指導している。その中の1項目に辞書の使用に関する次のような項目がある。

4 辞書で調べよう！

辞書は、英語を学習する際の必需品である。君たちにとって、英語は未知との遭遇である。その未知に遭遇した際に、君たちの強い味方になってくれるのが、辞書である。高校でも、中学校のように、教科書の後ろに新出語の意味を記載してくれないかな、とぼやいている人がいるとすれば、それはあまりに他力本願的な学習の仕方ではないだろうか。必要な情報は自分で収集すること、高校ではこれが必要なことなのである。

それでは、上手に辞書を利用するための基本的なポイントをおさえておこう！

- ① 新出単語が出るたびに、文中ではどの意味が適切なのか、例文を参考にしながら判断する。
- ② 既知の単語も文の中で意味がうまくとれない時は、調べてみる。
- ③ 調べた単語・熟語・例文に印をつけ、辞書引きの履歴をつくる。

この中で最も強調しているのが、「例文を参考にしながら」という点と「辞書引きの履歴をつく



る」という点である。

■Only One of My Dictionary

オリエンテーションの最後は、英語の授業では必ず辞書を携帯することという指示と、予習の範囲の提示で締めくくる。そして、次の時間からが本格的な辞書指導の始まりである。

2時間目の授業では、オリエンテーションでの指示通りにほとんどの生徒が自分の調べた単語・熟語・例文に印をつけてくる。その授業の中で、生徒があまり理解できなかったところを捉え、その語を調べた際に、どの意味や例文に印をつけているのかチェックするのである。そして、その文の解釈としては不適切なものに印をつけている生徒に対して、なぜそこに印をつけたのかという問いを発し、本文と例文との類似性、文脈の中での適切な語の意味の選び方などを用例や語法などを「読む」ことによって考えさせていくのである。その際、ポイントなどを辞書にそのまま記入するように指示している。そうすることによって、次に同じ語を引いた時に、より早く適切な意味を見つけることができるようになるからである。このように、毎時間誤答が多かった問題、解釈が難しい問題などにぶつかった際には、その場で辞書を引かせ、印をつけさせ、記入させるのである。はじめのうちは、一番目に掲載されている意味や例文にしか注目しなかった生徒も、次第に1度引いたらその語に関する記述すべてに目を通すようになる。また、実際に何度も引かせ、印をつけさせることによって、多く使われる意味や用法などが一目で分かるようになるのである。

1～2ヶ月もすると、生徒の中には、重要度によって線の色分けをしたり、自分が間違った問題を例文として付箋に書いて貼りつけたりする者がでてくる。そのような工夫をし始めるようになれば、後は自発的に辞書を活用するようになる。そして、自分だけのオリジナル辞書に愛着すら感じるようになるのだ。さらに、それはどんな市販の

参考書よりも詳しく、最も自分の苦手な分野を解説してくれる自分だけのオリジナルの参考書にもなるのである。また、このような履歴が残ることで、生徒は自分がどれだけその語に関する記述を読んできたかを知ることができる。すでに何度も辞書を引き、印をつけてきた語に対しては、「また引いてしまった」と自分に憤りを感じるようである。そのため、その悔しさが語彙や用法などの記憶の促進につながっているように思われる。

電子辞書は確かに持ち運びが便利で、携帯電話のメール操作に長けている生徒たちにとっては、紙の辞書よりも調べる時間が短縮できるため、海外旅行などで即時の対応が必要な場合は、非常に便利である。しかし、電子辞書にヒストリー機能があり、ある一定の期間の履歴を残すことができても、高校3年間のすべての履歴を残すことは不可能である。また、紙の辞書のように、他の例文や授業での解説を付け加えたりすることもできない。前述で、「英語力を伸ばしたいと思うのであれば、紙の辞書を購入してください」という理由はここにあるのだ。

■おわりに

1年も経つと、ほとんどの生徒の辞書は購入した際に付いていたケースに入らないほど、ページが膨れ上がっている。その厚みこそがこれまでの努力の結晶であり、生徒が自信を持つきっかけとなっていると考えている。

入学時に『ジーニアス英和辞典 第3版』を購入した2・3年生の中には、現1年生の使用している第4版と自分たちがこれまでに使っていた第3版を丹念に見比べ、こちらの方が見やすいと新たに第4版を購入した者も多い。辞書に対してそのような興味や愛着を示すこと自体が、入学時からの成長の証であり、非常に喜ばしく感じている。

(おおした はるみ・福岡工業大学附属城東高等学校教諭)



宿題と共生する英語授業：語彙の「積極的活用」を目指して

——『ジーニアス英和辞典 第4版』を使って

高橋昌由

■語彙の積極的活用

語彙が注目されています。今後は、教えるべき語彙が増えることでしょう。また、読む、聞く、書く、話すことを基本にしたコミュニケーション能力が引き続き求められますし、そのようなコミュニケーション能力や思考力の向上のための語彙力充実に向けての指導も求められます。加えて、語彙力増強のために、語彙の実際の使用を含むその積極的活用が求められます。では、どのような授業展開で、語彙を「積極的活用」するチャンスを生徒に与えることができるのでしょうか。

■宿題の活用

生徒が語彙を「積極的活用」する場としては、授業だけでなく「教室外」、特に宿題があります。本稿では宿題にも焦点をあて、語彙の「積極的活用」を目指すリーディングの授業を考えます。

語彙の「積極的活用」のために、私が提案している「宿題の10の原則」の中の特に次の3項目を重視します：④授業で充分教える、⑩宿題をやる気にさせるための学校と家庭を連携させる活動、⑨目標に向っての適したタスク。(授業と宿題の連携は、1 Pre-class phase ⇒ 2 First home phase ⇒ 3 Class phase ⇒ 4 Second home phase ⇒ 5 Post-class phase の順に展開されます。1, 3, 5が授業で、2, 4が宿題です。)

このリーディング授業+宿題の連携では、「初めて見たテキストが読めた!」と、実感できることを大切にします。以下では、「初見で読めた!」を実感させ、語彙を生徒に「積極的活用」させる

ために、どのように1 ⇒ 2 ⇒ 3 ⇒ 4 ⇒ 5の流れを展開するかを説明します。

1 Pre-class phase：予習にむけて

この段階は、実際にテキストを読む前の授業で、その重要な語義と発音・アクセントを重視します。語義については、品詞にも注目させ、「simply は『簡単』ではなく『簡単に]!』」というように確認させます。品詞をふまえていないと「主語+動詞」さえ見抜けず、読めない!また、書けない、話せない!となります。また、発音・アクセントについては、正確に速く音読できることも重視します(これは、正確に速くテキストを読むことにつながります)。これらをもとにした「2択 VOCA (vocabulary)」というハンドアウトに取り組みさせます。

この「2択 VOCA」は20行ほどできていて、1行が3つの部分に分かれていて、左からターゲットの語、中央と右が正答か誤答となる訳語が並びます(例:「simply 簡単 簡単に」)。「2択 VOCA」の取り組み方は、まず、生徒に短時間で正解の訳語を○で囲ませます。短時間で取り組むことで緊張が生じます。次に解答解説で語を簡潔に説明していきませんが、生徒にはその説明をハンドアウトに書き込ませ、書き込みの多いものは評価してやります。最後は、正確に速く音読できるように練習させます。単調な練習では飽きるるので、自信が持った頃にペアワークで競わせるのもいいと思います。ゲーム感覚が大切です。



2 First home phase : 1の復習と3の予習

ここで、辞書使用を要求するのではなく、「2択 VOCA」の単語が正確に速く音読できる、単語を見て訳語が言える、(できれば、訳語を見て単語が言える,) という復習を重視します。これは次のテキストを読む3での授業に備えた予習にもなっています。ここが不十分では、次の3のテキストを読む授業の段階では、未知語がたくさんあるために、テキストが理解できないようになってしまいます。

3 Class phase : 基礎理解確認

「2択 VOCA」を使いペアワークで音読させて、正確さと速さを競わせるようにします。ゲームとはいえ、自分の力を目の当たりにするわけですから、筆答の単語テストより効果があります。また、ペアが音読した英語の訳語を言ったり、その逆のタスクなどをさせます。進化した自分を確認して、「家で練習してきて良かった!」と、充実感がいっぱいになります。この段階で、初めてテキストを読ませるとかなり理解できるので、「自分ではできるんだ!」と、うれしくなります。

この時に英和辞典を引かせて、ややこしい語法などをノートに整理しつつ確認させると生徒の頭にスッと入り、定着も良いようです。

4 Second home phase : 純粋な復習

ここまでの段階では「2択 VOCA」の語に馴染んだくらいで、語彙の広さも深さも不十分です。ここで助けになるのが、英和辞典で、この段階での英和辞典活用は効果的に機能します。

大切なのは、3の授業で明確にタスクとそのとり組み方を示しておいて、そのタスクが宿題として楽しめるようにしておくことです。タスクは、取り組んだ「2択 VOCA」の語から作りますが、その例として、『ジーニアス英和辞典 第4版』(以下G4)の多義語の語義展開図をもとにしたタスクは有効でしょう(例:「soundの副詞の例

文を使ってあなたの最近の生活を友達に伝える文を書きなさい)。G4の語法解説に記載されている内容についてのタスクもよいでしょう(例:「maybeの語法欄の解説を参考にして、「Maybe.」と返答する理由を伝える文を書きなさい)。また、あれこれ考えて書き留めた視覚的にわかりやすいものが記憶に残るようなので、semantic mappingもおすすめします。さらに、ターゲットにした語を含む「1行日記」は特におすすめです。経験したことは書いて楽しいし、充実感があります。「1行でいいよ!」とは言うだけで、なかなか1行では完結しないので2~3行は必要になります。でも、親しみのある語で実体験の内容ですから、書けるし、書こうとします。書いたら充実感も生まれます。また、話したくもなります。これがパラグラフ・ライティングにもつながります。この段階では、すばらしいノートが仕上がっています。

5 Post-class phase : 復習と発展

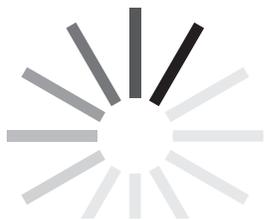
ノートを開かせて自己学習の成果を教師が点検します。Good Job!などのハンコが効果を発揮します。自分が書いた1行日記をペアに読んでもらうタスクも有効です。事前に暗記して語りかけるペアワークはなお良いでしょう。4人でのgroup presentationはさらに良いと思います。

■これからの英語教育の進む道

本稿では、語彙の積極的活用を目指しての宿題を含む授業展開を提案しましたが、お気づきのよう、辞書引きを後に配置しています。これは、生徒のやる気を高めてそのやる気を持続させつつ、辞書を効果的に機能させる方策です。

英語教育の行方が見えにくい昨今ですが、さまざまな場で学力を高めることによって、生徒に対しての責任を全うする気概を大切にしたいと思う今日このごろです。

(たかはし まさゆき・大阪府立山田高等学校教諭)



高校入門期における辞書指導について

——『プラクティカル ジーニアス英和辞典』を使って

木方健晴

1. はじめに

本屋に行き英語の勉強法に関する本を探せば、それこそ百花繚乱、数多くの本が並んでいる。辞書についても様々な意見がある。「辞書はボロボロになるまで使え」など古典的なものから、「辞書を使わず、とにかく多読こそがbestだ」まで両極端だ。しかし、一英語教師として、高校1年生にどう英語を教えていくべきかを考えた時、現実目の前にいる生徒を抜きにはできない。

私の勤務校は、一言で言えば、至極「平凡な」学校である。中学時の成績はごく普通で、大学進学「希望」者が9割以上いる。生徒は、真面目で純朴な性格のものが多く、私は転勤して4年目になるが、授業態度も良く、授業で困ったことはめったにない。ほとんどの生徒は「おとなしく」授業についてきてくれる。だが、それは授業中静かに聞いていてくれるというだけで、しっかり予習して授業に臨んでくれるというわけではない。むしろ、年々家庭学習の時間は減ってきているというのが個人的な実感である。

また、生徒が今まで接してきた中学英語の授業は、おそらくcommunicative approachが主であり、その成果として授業中に発言したり、AETと臆せず話ができるというようなプラス面も多い。一方、英文を読む経験に乏しく、辞書を引いたことがないという生徒も珍しくないというのが現実である。

2. 高1の英語の授業について

さて、このような現状の中、我が校での高校入

門期の英語指導及び辞書指導はどうあるべきか、私なりに考えてみた。

3年後の大学入試を射程に入れば、読解力の養成は外せない。一口に読解力といっても、一朝一夕に身につくものではない。まず、高校英語の入門期においては、生徒の最も手近にあるのが教科書であり、教科書の英文を「読める」ようにすることが第一である。私の高校では、もともと英語好きの生徒は少数派で、放っておいても勉強していくことは望めない。まだ中学英語も十分消化しきっていないものもいる。彼らが自分ですらすらと予習してくるとは考えがたい。さりとて、簡単に到達度目標を下げてしまってもよいものか疑問が残る。そこで、正確な文法知識を身に付け、英文和訳の練習を積み重ねることにより、教科書の英文を生徒が「自分で読める」ように高めていくのが私たち教師の最初の仕事ではないか。そのためには、初学者向け英和辞典の活用を十分指導することが不可欠である。

3. 辞書の選定

以前から、勤務校では、1年生に共通の辞書を買わせていたが、近年、電子辞書が普及し、学校に電子辞書を持ち込むものも出てきた。しかし、単に未知の単語の意味を調べるだけであれば、紙の辞書でも事足りるであろう。紙の辞書を使いこなすことに慣れてから、電子辞書を買っても遅くはない。

では、紙媒体の辞書を、新入生にどう提示するかであるが、①2冊程度の複数の辞書を推薦する



方法、②1冊の辞書を「強制的に」購入させる方法、の2つがある。①という形は、我が校では、教科書類の購入が入学式前であり、新入生がどちらにするか却って迷う場面も考えられる。その点、②の方法ならば、少なくともあれこれ頭を悩ます必要はないし、もし万が一同じ辞書を入学までに買っていたり、譲り受けたりしたものがあれば、学校で購入した後に返品もきくように教科書販売の指定店に取り計らってもらうようにすればよい。

そして、何よりも同じ辞書を学年全員が購入することで授業中一斉に辞書指導することが可能になり、demeritよりmeritの方が大きいと思われた。結局、今年度は『プラクティカル ジーニアス英和辞典』を購入させることにした。語法にも強いという『ジーニアス英和辞典』の特徴を継承しつつ、コンパクトにまとめられ、かつ大学受験時まで十分使用に耐えうるというのが選定の理由である。最新の辞書学の成果も取り入れられ、紙面が見やすい点も好感が持てる。語法上特に問題となるものには \blacksquare が付き、例えばstop～ingとstop to doの違いなど文法上ポイントとなる事も明示されている。

4. 実際の授業での活用例

今年度の1年生を教えるに当たって、年度当初に立てた授業方針（目標）は以下のようなものである。

- (1)教科書の英文を文法にも注意し、精読する。
- (2)辞書を授業内で活用する。
- (3)家庭での予習を促すような指導。
- (4)語彙を増強するための小テストの実施。
- (5)副教材を使用し速読の訓練。週1回10分程度。
- (6)授業にオーラルを重視した活動を入れる。

次に、実際の授業の一端、特に辞書指導について述べてみたい。まず、辞書を授業に持参させることであるが、1学期の段階ではほぼ全員が守っていたが、中には机の中や個人ロッカー内にしま

い込んでいる者もいたりした。その都度指導するが完璧にというわけにはいかない。

「予習」については、なかなか徹底できず目下最大の課題である。例えば、How come so many students are in the dormitory? という英文を授業で和訳させると、「“dormitory”って何ですか」と逆に質問されたり、「多くの生徒はどうやって寮に来たのですか」などと取りあえず和訳してくれたりする。ここで辞書の出番である。生徒に一斉に辞書を引かせるとかなり時間がかかるが、同一の辞書を持たせているおかげで、dormitoryの掲載ページを口頭で指示したり、how comeの探し方や語法欄にも目を向けさせることができる。

とにかく、心がけていることは、できるだけ1時間の授業中に最低1回は辞書を引かせよう、ということである。予習で一度も辞書を引いたことのない生徒にも、辞書に慣れさせ、辞書引きを通じていろいろ発見があることをせめて授業で体験させようという思いもある。効果を高めるには、自分も十分「予習」しておく必要があるが。

5. 最後に

この辞書に付属する教材である『活用ワークブック』を、5月の連休中の宿題として与えたところ、多くの生徒は真面目に取り組んでくれた。このワークブックは内容が良くできているので、課題に終わらせず授業で使うべきだったかもしれない。例えば、練習問題にcoffeeという何気ない単語を引かせ、コーヒーの種類や用語に加え、「アメリカでは16～17歳頃コーヒーを飲むことを許可されるのは大人の仲間入りを意味する」というような文化的背景まで学ばせるものがあった。このような経験の中から、単なる意味調べでなく、辞書を引く楽しみを見つけてくれたらよいと思う。語義を確認するだけにとどまらず、後のproductiveな学習にもつながる活動を、今後の課題としたい。

(きほう たけはる・愛知県立瀬戸西高等学校教諭)



高校段階での辞書指導の重要性と実践例

——『プラクティカル ジーニアス英和辞典』を使って

飛田牧弘

採点をしていて大いに気になるのが基礎的な単語のミススペルである。私が勤めている学校の生徒を見てみると、単語を手で書いて覚える学習習慣が身につけていない生徒や、辞書を引くという地道な作業を厭う生徒が見受けられる。中学校では、週3時間の制約の中で、辞書指導は困難であろうし、教科書に単語リストが掲載されているので、辞書がなくてもさほど困らない。つまり辞書使用では初心者状態で高校に入学してくるのである。卒業後には、進学して英語学習を継続する者もいれば、高校が最終学歴になる者もいる。したがって、高校の段階で基礎的な文法力と、辞書を引けば英文が理解できる学力を育てることが、高校英語教育の使命といえる。そこで、同僚の先生方と相談して、辞書指導、しかも情報の一覧性・記憶の定着性・学習の能動性、そして価格の面でも優れた紙の辞書指導に挑戦することとなった。

1. オリエンテーション合宿

私が担任をする学年から、箱根のホテルに宿泊して、新入生オリエンテーションを実施することになった。その中に辞書指導を組み入れることにし、また、入学直後の生徒の緊張をやわらげるためにも、ゲーム的活動を含めることとした。

そこで、新入生全員に英和辞書を合宿に持参させ、『プラクティカル ジーニアス英和辞典 (PG) 活用ワークブック』を利用して、①辞書における単語の配列、②多義語・多品詞語・同綴語の検索の方法を解説し、以下の辞書引きゲームを行った。

①単語配列のゲーム

「30組の英単語があります。各組の4つの単語の

中で、3番目に辞書に出ている単語に○をつけないさい。制限時間は5分です。」

例 1. unicycle 2. union 3. uniform
4. unicorn

制限時間が経過した後に、答え合わせと各自の正解数を確認し、さらに下線部分の接頭辞の意味を、PGの「語要素一覧」で調べ、接頭辞・接尾辞が単語学習に役立つことを話した。

②多義語・多品詞語・同綴語のゲーム

「20組の英文があります。各組の2つの英文の下線部の意味を調べなさい。制限時間は10分です。」

例 This library has a lot of books. (名詞)

Did you book a hotel room? (動詞)

生徒の中には品詞の概念が乏しい者も少なくないので、ゲームとしてのスピード感を保つべく、ヒントになるように品詞を提示した。

2. アンダーライン

辞書を引く習慣を定着させるべく、授業の中で一度は辞書を使う機会を設けている。そして、授業で調べた部分は下線を引かせて、辞書を使った痕跡が残るようにしている。下線が引いてあれば、たとえ調べた内容を忘れてしまっても、後日、再確認が容易だし、下線が引かれている部分が増えていけば、生徒にとって励みと自信にもなるはずだ。また、教師用の辞書にも下線を引いておけば、同じ説明の繰り返しを避けられる。

3. 重要語の表示

日々の英語学習の中で、教科書をはじめ、副読本や英字新聞、大学入試の過去問に至るまで、高校生は数多くの未知語に遭遇する。文脈から意味



を推測できることもあるが、語彙が不足している段階では、頻繁に辞書を引かざるをえない。しかし、辞書を引いた全ての単語を覚えるのは効率がよくないので、現時点で覚えるべき単語と後回しでよい単語を分別する必要がある。PG では、単語の重要度を4ランクに分けてあるので、とりあえずセンター試験を目指して、赤色の見出しになっているAランクとBランクの単語(併せて約4200語)は覚えるように話している。難関大学の場合、5000~6000語程度必要とされているので、学習が進んだ段階で、市販の「受験単語集」で落穂拾いすればいいと考えている。

4. 語義グループ

せっかく辞書を引いても、最初の語義を無理やりあてはめる生徒が少なくないが、教科書に多義語が登場したら、辞書指導のチャンスである。(以後引用の下線は筆者による。)

Patch was a very bright student.

(*Voyager I* [2006], 第一学習社, p. 63)

PG では、多義語の語義はグループ分けされており、語義の全体像を把握しやすい。“bright”には5つの語義グループがあるが、主語が人間なので「頭脳のよさ」「人の性格の明るさ」に絞られる。Patch Adams は、医科大学に入学するとともに、笑いをういた医療を試みたので、両者の語義とも該当する可能性があるので授業で議論になったものだ。

5. 本義・図解

映画『タイタニック』の主題歌を歌った Celine Dion を扱った教材に次の一文があった。

Why do people get so excited over Celine?

(同書, p. 95)

“excited” とともに連語を形成する前置詞の中で、多くの生徒にとって“over” はなじみがうすいようであった。そこで、PG で“over”の本義である「あるものが他のものの上を弧を描くように移動する」を確認させ(“over”に図解がほしかった)、さらに類義語である“above”の図解を

参照させた。そして、「ある人物の全体に夢中」という意味で“over”を、「ある一人の人物に夢中」という場合は「点」をあらわす“at”が用いられると説明した。

6. 文型表示

ある単語を正しく使用するには、意味だけでなく、文中での使われ方を理解する必要がある。
women with pets considered themselves more attractive than those without.

(同II [2007], p. 26)

PG で“consider”の文型表示 [consider A (to be) C] を確認させ、下のように板書して、A と C が「主語—述語」の関係にあることを理解させた。
consider {[themselves] (more attractive)}

A (主) C (述)

PG では学習者を配慮してか、第4文型をSVAB、第5文型をSVACと表示している。指導の現状からすると、学習者の混乱を避けるためにも、目的語はOと表示したほうがいいのではないだろうか。

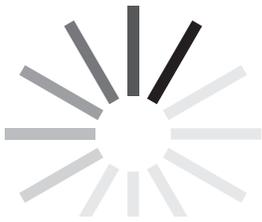
7. 用例

正しく英語で理解・表現するのに、辞書の用例は貴重な情報源である。用例を書き出させて、帰納的に理解させようとする同僚もいる。PGの用例は「対話」「ジョーク」「日本発」と、学習者の関心を引くように工夫されていて、辞書指導を興味深いものになっている。さて、優れた用例の条件として、「わかりやすさ」もあるが、PGの用例については、少し気になる点が見受けられる。

She expects to have finished this work... (完了不定詞を用いることで複雑になっている, p. 536)

People have a [the] right [↑]to pursue [of pursuing, to the pursuit of] happiness. (見出し語以外に難解な単語が含まれている, p. 1309)

高校生を対象にした学習辞書という性格上、今後のPGの発展に期待を寄せているところである。
(とびた まきひろ・東京都立新宿高等学校教諭)



生徒が自ら辞書を引きたくなるように

——『ベーシック ジーニアス英和辞典』を使って



野村和秋

■ How do you say “jisho-shido” in English?

「辞書指導」という言葉を聞いて私がすぐに連想するのは、学生時代によく言われた言葉「辞書を一冊ぼろぼろになるまで使って初めて、その言葉を勉強したと何とか言うことができる」です。「学問に王道なし」という言葉と同様、これは現在も通用する真実であるのではないのでしょうか。

「辞書指導」とは、具体的に生徒に何を指導するのでしょうか。「辞書指導」の目的は、単に辞書の引き方を解説することではなく、生徒が自ら進んで辞書を引きたくなるように導くことだと思います。英語で言うなら、“teaching students how to use a dictionary”ではなく、むしろ“encouraging students to consult the dictionary”となるでしょう。

そのためには、辞書を引けばどんなことがわかるのかを、生徒に具体的に知らせることが必要です。

発音：辞書を使って、生徒に正しい発音を習得させる。

語義：辞書を読むことによって、生徒にそれぞれの単語の正確な意味に気付かせる。

語法：それぞれの語の使い方を学ぶためにも辞書をひかせる。

語彙をふやす：辞書を使って語彙を増やす方法を教える。

作文：英文を書く時、辞書がどれほど役に立つかを例を挙げて示す。

文法：文法を学ぶためにどのように辞書が使えるかを示す。

■カタカナも使って英語の発音

日本の高校一年生で、一体何人が4月、5月に、adjective [ædʒɪktɪv]と書いてあるのを発音できるでしょう。

いまどき、2色刷辞書なんて珍しくもないけれど、このBasic Genius (以下BG)では、本当に効果的に、(発音注意)、(アクセント注意)が目に入ってきますね。発音表記にカタカナ表記の併用も、珍しいことではないけれど、《◆×アドジェクティブ》と親切に書いてくれている辞書はありませんね。同じように、gross グロウズ (発音注意) 《◆×グロス》。

教室で生徒が間違える発音については、ほぼ全部に(注意)表記がなされているでしょう。sword もそう、wool もそう。

sit-shit, see-she, boat-vote などの練習をしているうちに、さらに、rice-lice, right-light (語頭の [r] ! ムライト!)。カタカナをこんなによく活かすことができるんですね。まさに「カタカナの威力」ではありませんか。

あとは [s]-[θ], [ʌ]-[ɑ], [o]-[ɔ] などに注意させさえすればよいのだから。

■黒いダイヤモンド (◆) を探して

Genius 初版から使用してきた世代の教師の一人として、◆には本当に楽しませてもらい、どれほど助けられてきているかわかりません。

教室で、「シット ダウン」などと言う発音をする生徒がいると、「taboo words の◆を見て。放送禁止用語はダメ」。そして、BGでは、それが、



(発音注意)、(アクセント注意)にまで、応用されている。しっかりした発音で、国境を越えて、「発信」していくことは、これからますます必要とされていくでしょうから。

教室で、◆を探させ、それによって説明をする—教室での学習に、広がり、深みが得られる瞬間です。もちろん、◆だけでなく、PC (= politically correct) もそう。語法の囲みもそう。

BG では、例えば traffic の項においては、(つづり字注意)も、Q&A も登場していますね。

■英語を図解して

user-friendly にするための工夫のひとつが、「基本語の語義の図解」。どの辞書もそれぞれ図解に工夫をこらしており、それぞれ「う〜ん」と感心したりします。結論からいうと、BG は、図解でもなかなか健闘しているな、という印象をもちます。気付いたことを羅列すると、

① ago は「現在を基準に」を表す目の絵がチャージングです。反意語として、in も載っているとよいと思います (あるいは黒板に書いてやる、生徒に書かせる)。

② depress では、5本の下向きの矢印が、下へとpressされた状態をとともよく表現している。同じ <press> を含む他の語、例えば express (心の中から外へのpress) や impress (外から心の中へのpress) にも同じように絵があると (あるいは黒板に描いてやる)、関連した「辞書指導」が、楽しくできるのではないのでしょうか。

③ impose では <press> より弱い <pose> を一本の矢印で描いているのが興味深いです。これも同じラテン語の <pono> を語源にもつ depose, deposit にも絵があると (あるいはその絵を生徒に考えさせると) よいと思います。

④ emerge, emergency は語源と合っていてユーモラスです。など、など。

Genius 第4版では、「主な前置詞には基本義を視覚的に表したイメージ図が置かれ、わかりや

すく示され、第3版と明らかに印象が異なっています。Genius 第4版の、among, around, by, down, from, in front of, in, into, onto, opposite, out of, through, toward, up などの図を取り入れて、さらに魅力的なBGになることを望んでいます。

Genius 第3版では (そして、Practical Genius でも)、above の項に、on, over も、まとめられています (第4版では、それぞれの項に分散)。BG も第3版と同じく above のところで、3語の対比がなされており、これはとても分かりやすいので、on, over のところにも、「◆aboveの図を参照」のような注釈がぜひ欲しいところです。

■辞書を読んで

授業では、BG を、箱から出して机の上に置かせ、いつでも引きたい時に引いていいことにしています。最初に教室で使ったのが Fresh Genius, その後、Genius 改訂版、第3版と Practical Genius, そして今年の Basic Genius。

作家の大江健三郎さんは、病院の待ち時間の読み物のために、CODを持って行ったりすることがあるそうですが、辞書は、ただ引くためだけでなく、読むこともあると、ぜひ奨めたい。「図解でも、Q&Aでも、語法でも、aからzまで通して読んでみたら」と。あるいは、付録の「文法のとびきり」も。

「辞書を一冊ぼろぼろ…」の話が一年の最初に生徒にしておくと、「先生、これくらいではどうですか」と辞書を掲げて尋ねる生徒がいる。「そうやね、まだまだ、かな」と答えると、「先生のもまだまだですね」と、嬉しいことを言ってくれる。「そう、まだまだお互い進化の途中、大切なのは続けることだよ」と、“encourage students to read BASIC GENIUS”していきたいと思っています。

(のむら かずあき・啓光学園高等学校教諭)



GCD ジーニアス英和辞典 第4版

Question Box

『ジーニアス英和辞典 第4版』に寄せられたご質問にお答えします。



Q. not ④ [notの主節への移動] のところに、「意味の違いが生じない場合、主節を否定にするのがふつう」とあります。しかしある入試問題に *She thought that he couldn't go by bike because there was snow on the ground.* という文がありました。これは *She didn't think that he could ...* にする方が適切だということにならないでしょうか。

A. 否定辞の繰上げは必ずそうしなければならないというものではありません。この問題はそのままでもOKです。入試問題は当然ネイティブスピーカーによるチェックを受けていると思いますが、否定辞を繰り上げると、*She did not think that *he could go by bike because there was snow on the ground* のように *that* 節の中が非文になってしまうので、繰り上げないほうを取ったのだと思います。

ちなみに、*I think he is not honest.* だと *he is not honest* の部分が断定的に響きますが、*I don't think he is honest.* のように言うと断定口調が緩和されます。このような違いにも注意が必要です。

Q. get ⑩b [被害] で、《◆不注意による事故などで主語に責任がある場合は通例 get, 犯罪・災害などで動作主に責任がある場合は通例 have》という注の後に *We got [had] our roof blown off in [by] the gale.* という例が載っています。風で屋根が吹き飛ばされるのは主語 *we* に責任があるのでしょうか。この説明はおかしいのでは。

A. 確かにここは説明に不備があり、ご迷惑をおかけしました。まず、*We got our roof blown off in [by] the gale.* と *We had our roof blown off in [by] the gale.* は両方可能で、違いがあるとすれば *get* の方が口語的だというくらいです。×は不適切でした。また、これらの文には動作主はありませんが、動作主がない場合を説明できない書き方になっていました。

ここは次のように書き直すことにします。

b) [被害]《略式》[doneに通例強勢を置いて] <人が> O<自分の物> を…される《◆特に自己の不注意などで引き起こした事故や不幸をいう場合に好まれる。cf. have ⑩b)》|| *Be careful not to ~ [*have] yourself burned.* やけどしないように注意しなさい《◆やけどは一般に不注意で起こる事故なので *get*》/ *He got [had] his bag caught in the train doors as they were closing.* 電車のとびらが閉まる時に彼はかばんをはさまれた《◆自己の不注意による事故を暗示するので *get* が好まれるが、*have* も可》/ *We got [had] our roof blown off in [by] the gale.* 強風で屋根を吹き飛ばされた《◆自己の不注意による事故ではないので *have* がふつう》。

以上は文法にこのようなルールがあるわけではなく、あくまで傾向として言えることです。

Q. visit ⑩2には *There was no time to ~ [the zoo [there]].* という例があります。visit there の visit は自動詞ではないのでしょうか。

A. visit there を他動詞の用例にしているのは、there を名詞と見なしているからです。G4 は there に

名詞をたてていますから、整合性は取れています。here, there に名詞をたてるのは英和辞典としては普通です。

しかし、高校では *arrive at there や *go to there, *his visit at there が間違いであることを教えるのに「there は副詞だから」という言い方をさせていると思います。そこへ there には名詞もあるといったのでは arrive at there はなぜだめなのかということになって、混乱するかもしれませんね。

結論から言えば、高校現場では here, there は副詞で通す方がよいと思います。ために、次の質問の答えを考えてみてください。

1. (3)が文法的であるのに、(4)が非文なのはなぜか。
 - (1) The enemy attacked the town.
 - (2) The enemy attacked there.
 - (3) The town was attacked by the enemy.
 - (4) *There was attacked by the enemy.
2. 名詞 here, there を主語にした文を作れるか。
3. here, there 以外に主語になれない名詞があるか。
4. up there, down there のそれぞれの品詞は何か。

かつて1940-50年代に cannon ball の cannon の品詞は何かといった品詞論が盛んに戦わされました。cannon は名詞を修飾しているのだから形容詞だというのが機能派、cannon は名詞で「形容詞的に使われている」とするのが範疇派です。機能派に従うと、the cat lay under the bed の under the bed は前置詞句、the cat came from under the bed の under the bed は名詞句になります。範疇派に従うと、両者とも範疇は前置詞句で、一方は本来の副詞用法、他方は前置詞の目的語になっている（臨時的な）名詞用法、となります。現場では後者のほうがすっきりするでしょう。

品詞を通常8つに分類するのは、全ての語を8品詞に分類できるからではなく、学習上便利だからにすぎません。それに現在では2語以上の集まりは未分析のチャンクとしてとらえるのが普通で、読む側にこれを分析して品詞を答えよと求めることはありません。

辞書は便宜上すべての単語を品詞に分類しなければならないこともあり、『ジーニアス英和辞典』は機能派寄りの記述を here, there に採用してきましたが、here, there は本来は副詞で通すべきです。次の改訂

ではその方向で記述の整合性を図りたいと思います。当面は leave there は自動詞+副詞、from here は前置詞+名詞、と便宜的に整理して、不統一の是正も含めて小規模の修正を行なうにとどめます。

Q. time ㊦㊧ の It's ((英) high) ~ (that) I was leaving. の注は、G4 では「節内の動詞は仮定法過去形、be 動詞は was がふつう；…」とありますが、G3 では「節内の動詞は直説法過去形が普通」となっていました。記述が変わったのはどうしてでしょうか。

A. I was weak when I was a boy. は、法 (mood) は直説法で全体の時制 (tense) は過去です。

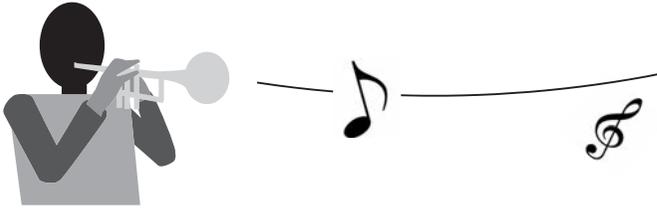
It's time I was leaving. は、法は仮定法で全体の時制は現在です。

現代英語には仮定法を示す屈折語尾がないので、時制を一つずらして仮定法であることを示します。全体の法を問題にする場合は、前者は直説法、後者はあくまで仮定法です。ただ、いずれの場合も be の変化形 was を「直説法過去形」と言うことは可能です。

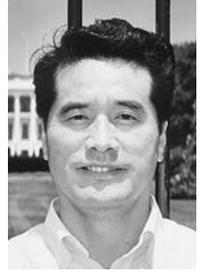
この句は『英語教育』Question Box でも何度か話題にされましたが、基本的には was, were, am などのどれが用いられるのかが論じられました。そして was=直説法過去形とされていて、文全体の法という観点は示されていませんでした。しかし辞書としては is → was と時制がずれるのはなぜかという説明がまずあるべきだと思います。全体の法はあくまで仮定法であり、そこで仮定法過去 were の変異形の was が用いられると理解してもらう方がよいと考え、上記のように変更しました。「I were でなく I was がふつうである」ことを「直説法過去形がふつう」と表現することは可能ですが、上記の説明と一緒にすると混乱を招くので避けた次第です。

なお、「be 動詞は was がふつう」はやや正確さを欠くので、「be 動詞は一人称・三人称単数主語の場合 was がふつう」と修正します。

(このコーナーは、『ジーニアス英和辞典 第4版』の編集主幹の南出康世先生の見解を元にして、辞典編集部でQ&Aにまとめたものです。)



音楽で楽しむ英語の世界



藤澤文洋

■年度初めのオープニング曲はこれ！

毎年年度初めの授業でこの曲を聴かせる。生徒に歌詞と楽符をプリントで配布して、メロディーを知っていたら挙手するようにと言っても、ほとんど手が上がらない。

Mine eyes have seen the glory of the coming of the Lord. / He is trampling out the vintage where the grapes of wrath are stored. / He hath loosed the fateful lightning of his terrible swift sword. / His truth is marching on. / Glory, glory, Hallelujah! / Glory, glory, Hallelujah! Glory, glory, Hallelujah! / His truth is marching on.

(神の栄光がやってくるのをこの目は見た。怒りのぶどうを収めにやってくるのを。光のごとく剣を抜き放ち、正義の神は行進する。グローリ、グローリ、ハレルヤ！ [以下繰り返し] 正義の神は行進する。)

聴く前に曲の紹介もする。1861年12月、ジュリア・ウォード・ハウ夫人はワシントンで開かれたパーティーに出席していた時、外を行進する兵隊たちが歌う曲を聴いて感銘を受けた。この経験をもとに詩を書いて、それがこの曲の歌詞になり、今日ではアメリカの国民歌の一つであると。

聴いている途中にうなづく生徒も出始め、聴き終わった後また聞くと今度はほとんど手が上がる。そう、南北戦争当時に歌われた「リパブリック賛歌 (Battle Hymn of the Republic)」である。

家電量販店のコマーシャルソングでもあり、「ま〜るい緑の山手線、真ん中通るは中央線、新

宿西口駅の前、カメラは〇〇〇〇カメラ」と口ずさむと、もう全員がわかる。

さらに、日本には「おたまじゃくしはカエルの子、なまずの孫ではないわいな、それが何より証拠には、やがて手が出る、足が出る」とか「太郎さんの赤ちゃんが風邪引いた…」という替え歌もあると紹介してもまったくわからない。「おたまじゃくし」は映画『エレキの若大将』で加山雄三が歌ったりしたものだが、世代の違いを感じる。

しかしアメリカにも替え歌がある。*Little Peter Rabbit* だ。

Little Peter Rabbit had a fly upon his nose, / Little Peter Rabbit had a fly upon his nose, / Little Peter Rabbit had a fly upon his nose. / So he flipped it. / And he flapped it. / And it flew away.

(小さなピーターラビット、お鼻の上にハエが止まった [以下繰り返し]、それではじき飛ばして、たたいて追っ払ったので、ハエは飛んで逃げちゃった。)

日本でもアメリカでもさまざまな替え歌があるということは、それだけ広く愛唱されていることがわかる。

■アメリカンポップスで楽しむ英語の世界

初任教東京都立豊多摩高等学校（東京都杉並区）時から音楽を取り入れた授業は実施していた（全国英語教育団体連合会の『全英連会誌』1986年号参照）。

私が自分で曲を選ぶこともあったが、生徒が好



きな曲のテープと英語の歌詞を持ってくればいつでも聴いた。毎週さまざまな曲を聴いてさながら音楽の授業のようですらあった。

当時からただ聴くだけではなく、穴埋めのリスニングテスト形式で行なった。2曲ある場合には、1曲目は耳慣らして2曲目はリスニングテストにした。ブランクを作る条件は3つある。すなわち、①1曲につきブランクを5つ作る、②なるべく上下の単語の語尾と韻を踏む単語を選ぶ、③リピートの部分を1箇所は入れる。①はブランクが少ないとほとんど聴くだけになり多すぎるとゆっくり聴けないため、②は英語の歌も詩であり、語尾は韻を踏むことが多いことを認識させるため、③繰り返し聴くことで徐々に聴き取れるようにするため。

答え合わせをした後、確認のため2度目を聴かせる。カセットテープかCDを使っていたが、2005年2月18日にNHK BS2で4時間生放送された『プレイバック！全米ヒットチャートナンバー1』を録画してから変わった。視聴者からのリクエストに応じて曲を流すのだが、嬉しいことに放送された全47曲が時には舞台裏から始まりフルコーラスで最後の演奏まで完全に流してくれた。音楽を実に大事にしている番組であった。

本校では夏休み最後の平日に中学生を対象に一日体験入学を実施して好評を博している。私は「アメリカンポップスで楽しむ英語の世界」を「メジャーリーグで楽しむ英語の世界」とともに開講しているが、定員いっぱい40名の応募がある。

現在中高生に最も人気があると感じるのは、Aerosmithの *I Don't Want to Miss a Thing* (ミス・ア・シング) である。上記の3つの条件のうち②の例を挙げれば、語尾が韻を踏む“sleeping”と“dreaming”，“together”と“forever”という組み合わせを作り、そのうちの1つをブランクにした。

1回テープで穴埋めのリスニングテストを実施した後、今度は『プレイバック！全米ヒットチャ

ートナンバー1』のビデオを見て映像でも確認する。テーマソングだった映画『アルマゲドン』のシーンも出てくるお宝映像だ。

1970年代以降の年代別人気ナンバーワンは、70年代が *Hotel California* (Eagles)、80年代が *Thriller* (Michael Jackson) で、90年代がこのAerosmithの曲である。*Thriller* は10分以上に及ぶショートフィルムで、このホラームービー(?)を高校生でも無我夢中で鑑賞する。

■年末恒例は「蛍の光」

「蛍の光」は日本では卒業式など別れの歌として知られているが、英米では大晦日に新年のカウントダウンをした後、ワインで乾杯しながら大合唱する歌である。『NHK 紅白歌合戦』のエンディングで毎年歌われるのがこれに近い。

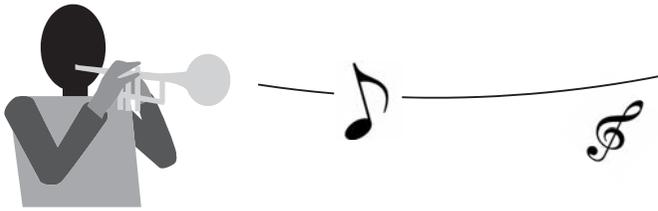
オリジナルの歌詞はスコットランド語である。タイトルは *Auld Lang Syne* すなわち英語では“old long since”となる。

Should auld acquaintance be forgot, / And never brought to mind? / Should auld acquaintance be forgot, / And auld lang syne? / For auld lang syne, my dear, / For auld syne, / We'll take a cup o'kindness yet, / For auld lang syne.

毎年年末には「蛍の光」を聴いてその年の授業を終えるが、『オーシャンズ11』の映画も併せて観る。現在『オーシャンズ13』まで上映された現代版ではなく、フランク・シナトラやディーン・マーチンのオリジナル版(1960年、『オーシャンと十一人の仲間』)だ。カウントダウン直後にホテルを停電にして皆に「蛍の光」を歌わせその間に大金をせしめるという筋書きだ。チャールズ・チャップリンの『黄金狂時代』(*The Gold Rush*)にも登場する。

これからも生徒たちには音楽を楽しみながら英語の力をつけていってほしいし、自分も一緒に楽しんでいきたいと思う。

(ふじさわ ふみひろ・東京都立八王子東高等学校英語科教諭)



ロックで生徒と仲良く!

四方雅之



1. 「普通じゃない」音楽の活用法

歌を授業で活用することは、古くから行われています。私も、アラン・ローゼン先生と福田昇八先生の『ロックの心』(大修館書店, 1982)には随分お世話になりました。「発音指導」「文型・文法指導」「文学(詞)の解釈」などがロックを通じてできるのです。英語教師必携の書ですよ。

でも、今日は、「正統派」音楽活用法は、他の先生方にお任せして、私は、ちょっとずるい、普通じゃない方法をご紹介しますと思います。

2. 私の曲目リストから——いくつか存じ?

- Yesterday* / The Beatles
- Let It Be* / The Beatles
- Imagine* / John Lennon
- Tears In Heaven* / Eric Clapton
- Hotel California* / Eagles
- Last Christmas* / Wham!
- Cherish* / Kool & The Gang
- People Get Ready* / Rod Stewart & Jeff Beck

どうです? なかなかよい趣味でしょう。ところが、ある日、ショックなことが起きたのです。

3. 「先生、古っ! オヤジ臭っ!」

この言葉はショックでした。頭にエクステ(エクステンション。わかります?)をつけた茶髪のダンス部の高校1年の女子生徒です。むっ、としました。しかし、当時40代の半ばにさしかかり、生徒との距離を感じていた私は、偶然にもちょっ

と謙虚な気分だったのです。

「じゃ、君は何がいいと思うの?」

「アヴリルぐらいやりなよ。」

当時は、「なんじゃ、そりゃ?」といった感じです(松田優作のつもりですが、これも古っ!)。アヴリル・ラヴィーン(Avril Lavigne)のことだったんですね。彼女の勧めに従い、*Complicated* をレパートリーに入れてみたのです。(ご存じでない方はYouTubeでご覧になれますよ。)これは受けましたね。特に女子に。感謝したものです。2002年のことでした。

4. 「小林克也」健在!

そういえば、新しいものから遠ざかっていたなあ。ちょっと反省です。若さが足りないと生徒は授業についてきません。久しぶりに「新しいもの漁り」を始めようかなあ、と思っていたところ、なんとテレビで『ベストヒットUSA』が復活しているじゃありませんか。感激しましたね。小林克也さんも昔のままです。(癌を克服していたと知り、さらに感激!)ここから得たのが、Kelly Clarkson。アメリカの『スター誕生!』(欽ちゃん司会で、山口百恵や桜田淳子などが生まれたあの番組。古っ!)のようなテレビ番組から飛び出した、アヴリルの妹分です。*Breakaway* という曲は、野心に満ち溢れた若い女性の気持ちを表現していて、なかなか元気が出る曲です。たとえばサビの部分で、“I’ll spread my wings and I’ll learn how to fly./ I’ll do what it takes till I touch the sky.”と訴えます。近い将来、留学を



して、能力を目一杯伸ばしたいと目論んでいる女子はビッビッと感じるようです。このようにメロディーだけでなく、詞にも関心をよせる生徒も出て来ます。授業では、ビデオ録画しておいた彼女のPV（プロモーション・ビデオ）とインタビューをみせましたが、詞の理解が深い生徒ほど、彼女の一言一句に耳を傾けていました。

5. 「小道具」で生徒をゲット

さて、どうやって、生徒に歌わせるか。基本的には教師が乗らないとダメ。教師がその曲に入れ込んでいないと、その曲の良さが生徒に伝わらないのです。もっというならば、大袈裟なぐらい「俺はこの音楽が好きなんだ！」という雰囲気か教師には必要です。

私はずるいですよ。いつも視聴覚室で授業をするのですが、そこにはエレキギターが置いてあります。フェルナンデス社製の「象さんギター（型番：DIGI-ZO HYPER）」です。お笑いの「はなわ」が使っているもの（彼はベースですが）を思い浮かべてください。ギターの本体にスピーカーがついていて、100種類ぐらいの音が出るのです。リズムボックスもついていて、それに合わせて演奏できます。馬鹿うけます。

さらにいいことがあります。ギター大好き少年少女はクラスに必ずいるものです。ケチケチしないで、彼らに愛器を触らせてあげるのです。喜ぶますよ。ついでにギターテクまで教えてくれます。（2004年当時はエレキの初心者でした。）彼らを支援者にして授業を盛り上げてもらうのです。

6. 音楽にのめり込む

今年の夏休みは音楽を求める旅にアメリカにかけました。ニュー・オリンズとメンフィスでは、どっぷりとブルースに浸かりました。ニュー・ヨークでは、ロックです。ライブハウスの名門「ニットイング・ファクトリー（Knitting Factory）」のBenzos（写真1）というグループ

は秀逸でした。2学期は彼らの曲を扱おうかなあと思っています。また、彼らのメーリングリストにも入りました。メールを通じて、生徒がメンバーと交流することも可能です。Benzosは、まだ、メジャーデビューしていないので、暇だからです（笑）。帰国後は、文化祭のステージに立つことを希望する生徒たちのオーディションに立ち会いました。もちろん審査員としてです（写真2）。エレキ歴3年。今では学校では、ちょっとした「ギター・ヒーロー」なんですよ（笑）。

今思えば、茶髪の女生徒にちょっと譲歩したのがきっかけでした。生徒の目線に立つことを忘れなければいいのです。それさえあれば、あとは自分の情熱をぶつけることです。そして、なにも新しいものにこだわらず、「いいものはいい！」の精神で「古っ！」っていわれても堂々といきましょう。仲良くなれば、生徒は必ずついてきます。

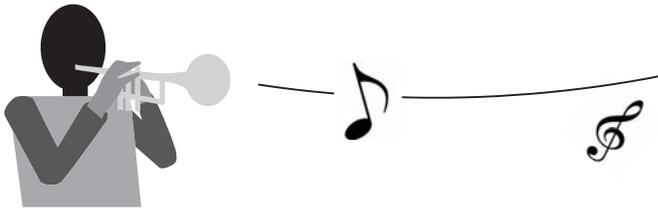
（しかた まさゆき・成蹊中学高等学校教諭）



写真1 Benzosのメンバーと



写真2 オーディション参加に生徒と



リズムで熱狂♪ Masaya's Bootcamp へようこそ!

阿部雅也

「阿部先生の授業ってすごい生徒の声が聞こえてくるよね。あれ何やってるの?」「教科書読ませてるんですよ。」「え?!教科書の音読であんなにノリノリなの?」私の授業と Billy's Bootcamp には共通点がある。一つめはやってる本人がノリノリ(笑)。二つめはリズム・テンポ・スピードを大事にしてやる気を引き出すこと。私が仕掛けることで、教室は割れんばかりの声が出る Bootcamp 空間に。以下に私の「仕掛け」を紹介する。

■リズムで感じる単語アクセント

下の単語を2拍子のメトロノームか手拍子とともに発音してみてください。



gui-tár pi-á-no mú-sic ín-ter-est-ing
● ■ ● ■ ● ■ ● ■ ...

弱音節は前後にはじき飛ばしてアクセントのある強音節を中心に発音しなくてはいけないのがお分かり頂けたでしょうか。慣れれば誰でもすぐに来るようになる。ただ教師のモデルの後については練習しているだけでは「自分で」読めるようにはならない。ペアで交互に単語リピートをする。ジャンケンで勝った人が先生役(実はこっちが大変)。相手を正しいリズムでリードする。教室中央に置くメトロノームは2拍子で鳴らさばなし。各ペアが気が済むまで繰り返しているので進度がバラバラになってしまうがそれでよい。各自が異なった単語の発音をしているのに、リズムと強勢だけは揃っているという不思議な一体感。リズムで心が解放され、アクセントの位置が体にな

じむから自然と声が出る。教室を見渡して頭が縦横に swing してきたら、場が暖まってきた証拠だ。

■「おとなしクラス」も騒然のリズムボックス

リズムボックスとは、自分で設定したリズムを自動再生させることができる機材で、あらかじめドラムやベース等の音色が入っている。



私が使っているのは『BOSS DR-3』(上写真)。設定できるテンポは rock, ballad, funk, jazz, samba など全100パターンで、操作も至って簡単。スピードの設定も自在なので、緩急揺さぶりをかけて徐々にハードルを上げて行くことができる。シメは10代が好むクイックビートで絶叫マシンに。教師もノリノリ DJ 気分でする。

■音節のリズムをつかみカタカナ読みを脱出

単語だけでなく、文レベルでもリズムボックスは活用できる。テンポのある良質の音読教材は歌詞や諺、チャンツなどそこら中にゴロゴロしている。例えばロマン派の英詩をリズムボックスに合わせて読むこともできる。(1行4拍)

“Pipe a song about a lamb!” 羊の歌を吹いてみて

● ● ● ● ● ● ● ●

So I piped with merry cheer. 陽気な歌はいかがかな

● ● ● ● ● ● ● ●



“Piper, pipe that song again.” ネエもっかい吹いてみて

● ● ● ● ● ●

So I piped: he wept to hear. 聞いたら彼泣いてたよ

● ● ● ● ● ●

(William Blake: *Songs of Innocence* より, 訳は筆者)

一行目は

パイプ ア ソング アバウト ア レアムとすると

● ● ● ● ● ●

6拍になるが、正解は

パイバ ソーング アバウタ レアム。

● ● ● ●

英語では弱音節である a や with がストレスのある強音節に磁石のように吸いつく、つまり音節 (syllable) が一つの単位となり一定のリズムを刻む。一方、日本語では拍 (mora) が単位。俳句の五七五で文字数を数えるように、1拍はひらがな1文字に相当する場合が多い。生徒がつまずくのは「パイバ、アバウタ」のリズムだ。これをくどくどと教師が説明するのはNG。リズムボックスを“funk”に設定してこの詩を音読すれば、生徒がN.Y. ラッパーに大変身。「できる→楽しい！」から、子どもたちは自分で音節のルールを発見する。

■声の出やすい雰囲気作り

●自信をつける魔法の声かけ：ダメ出しだけの授業ではシラけてしまう。「あれっ！今のthの発音は誰？プロ並み〜！」褒められれば声が一段と大きくなるのが人の心理。教師＝役者。実際にそんな子はいなくても作戦として褒めることも（笑）。●恥ずかしさへの配慮：こんなことはないだろうか。音読が終わった人から座りなさいと言うと、最後まで残った生徒がハッと周りを見ていそいそと席に座る。「立って1回、座ってもう1回」と指示しておけばOK。全員2回目に入ったのを見計らってStop。これで全員が最低1回は練習できる。

■音読テストで伸びる技能

音読テストを実施し、ビデオ撮影する。英語は技能教科、できてナンボだ。期限を設けて生徒を到達目標に着地させるのがねらい。音読テストの日時はタスク導入時に予告しておく。制限時間や正確さ、リズムなど厳しい合格基準もできるだけ具体的に伝えておく。テスト当日までの練習計画マネジメントはペアの責任。前回の音読テストのよい例をビデオで見せて違いを気づかせれば生徒の心が動き、自分たちで練習を始める。



いつものテスト手順は次の通り。①空き教室や階段の踊り場で、ペアごとに撮影（左写真：私が横で合格判定。ビデオカメラは固定して録画しっぱなし）。②他の生徒は教室で待機、自分たちの番が来る前にテスト場へ移動する（流れをスムーズに）。③テストを終えたら教室に戻ってペア学習。

私の合格判定は超厳しい。生徒は受かるまで挑戦するが、その時間中に全員合格させるのが鉄則。そのうちにグルグル何回も列に並ぶ者も出てくる。カメラの横には練習中のペアの列ができ、うまいペアの発表から「まねぶ＝学ぶ」ようになる。「受かった〜！」と小躍りしながら教室に戻る生徒の姿は感涙もの。節があるから竹は伸びていく。音読テストはその節の1つだ。どこに、どんな「節」を設けるか、すべては教師のマネジメント。

* *

リズムがあると心地よく、つい続けてやりたい気持ちに駆られるのではないだろうか。音読、教師の指示、活動のコマ、音読テストなどに計算されたテンポがあり少しのゆるみもないこと。これが生徒のやる気に火をつける Masaya's Bootcamp の「仕掛け」だ。

(あべ まさや・新潟県立村上高等学校教諭)

新登場！

『[新版] ジーニアス英単語2200』

武田 一

B6判
488 ページ
2008年1月発売

『ジーニアス英単語2500』の出版から10年が経ちました。今回、改訂にあたり語彙数を2200語としながらも、語彙・語法問題対策の決定版となる単語集を目指しました。改訂のポイントは次の3点です。

①例文はセンター試験から

先日、文部科学省からセンター試験が自身の過去問を利用するという発表がありました。ということは、ますます授業で過去問に取り組む時間は増えるでしょう。『[新版] ジーニアス英単語2200』では、センターレベルの基本の900語において、センター試験に出題された文を中心に例文として取り上げています。過去問をやっていけば単語集で見た例文そのままに出くわす、つまり、実際の問題で触れた単語に出会うことで記憶の定着がはかれます。

②同義語の充実

『[新版] ジーニアス英単語2200』は紙面を『2500』に比べ大型化します。レイアウトも、左ページでは見出し単語、和訳、同義語を分けて掲載しています。左端の同義語は見出し単語の同義語問題として出題された単語です。単語の意味・関連イディオムを覚えた後、その単語がどのような言い換え問題で出題された

のかがかめる、より実践的かつ即戦力養成につながるレイアウトになっています。

③自慢の語法でチェック

同義語をひと目でわかりやすく配列しただけでなく、同義語間の注意すべき語法、識別をコラムとして下段にまとめました。また、高校の現場で、例えば、reduce という単語なら、基本として「減少させる」をまず覚えてもらいたいと思うはずです。そして、その後、「～する羽目になる」の意味もあることを学んで試験会場に送りだしたいと願うはずです。そこで、このような入試に問われるワンランク上の情報も、見出し語の項とは別にページ下のコラムでまとめて紹介しています。単語がもつ複数の意味の中で、どの意味が他の受験生と差をつける「穴」として狙われるのが自然に身につくように工夫してあります。

英語学習で、単語を覚えるという作業から逃げてはいられません。そして、地道な努力を続けることが合格へつながる唯一の道です。だからこそ、生徒の知的好奇心をそそり、いつでもどこでも開いてもらえる単語集を目指し、『[新版] ジーニアス英単語2200』、いよいよ登場です。 (たけだ はじめ・武南高等学校教諭)

左ページ

<input type="checkbox"/> battle [bætl]	戦争・戦闘 〔識別〕battleはwarの一部
<input type="checkbox"/> meadow [médou]	牧草地・草原 〔参考〕wilderness「荒野・荒地」
<input type="checkbox"/> wheat [wit]	小麦 〔識別〕grain「穀物」

★ **Genius Point** ★ 「戦いはどっち! ⇒ battle/fight」
多くのアメリカの若者がイラクで戦うことを拒絶した。
Many young Americans refused to () in Iraq.

コラムで発展学習

右ページ

fight combat 充実の同義語
pasture センター試験より

<input type="checkbox"/> The soldiers were seriously wounded in the battle . 兵士たちはその戦闘で重傷を負った。
<input type="checkbox"/> He put a wall around the meadow so that sheep don't get out of it. 彼は羊が出ていかにように草原のまわりに柵を立てた。 (早稲田大)
<input type="checkbox"/> It is often said that rice is to Asians what wheat is to Europeans. アジア人の米はヨーロッパ人の小麦にあたるように言われる。 (センター試験)

暴力を使った人

パソコン用 G4 登場！

『DVD-ROM版 ジーニアス英和〈第4版〉・和英〈第2版〉辞典』

価格 9,240円（本体8,800円）



G4（『ジーニアス英和辞典〈第4版〉』）刊行から半年を経て、パソコンソフト『DVD-ROM版 ジーニアス英和〈第4版〉・和英〈第2版〉辞典』が6月に刊行になった。

従来の『CD-ROM版 ジーニアス英和〈第3版〉・和英〈第2版〉辞典』の英和辞典部分をG4に置き換えたものだが、見出し語の音声を大幅に増加させたためデータ量が増え、媒体をDVD-ROMに変更した。

今回のDVD-ROM版では、G4本文・付録を図版を含めて完全収録したのに加え、見出し語音声（ネイティブスピーカーによる発音）を14000語から26000語に増強し、さらに書籍版にはない追加用例「ジーニアス用例プラス」をさらに増やした。追加用例は、該当する語義のところにある「→ [用例プラス]」という部分をクリックすると表示されるようになっている。

EPWING 規格

本ソフトは、これまでと同じく、「EPWING規格」によっている。

EPWINGはCD-ROMの初期からある規格で、CD-ROM辞典でもっとも普及している規格である。辞典の中味と検索ソフトは独立していて、それぞれのOSに合った検索ソフトがあればどのOSでも使える。このDVD-ROMにはWindows用（98以降）、Mac用（OS 9, OS X）の検索ソフトが付属しているが、他の検索ソフト（例えばDDWin）を使うこともできる。また、DVD-ROMのまま検索することもできるし、辞典本体をハードディスクにインストールして使うこともできる。

表示

電子辞書（携帯用のIC電子辞書）では通常見出し

語1つだけが表示され、しかもその中の用例や成句はボタンを押さないと表示されないが、本ソフトでは、隣接の項目もひとつの項目の中の用例や成句も、書籍と同じ順序で連続した画面で見ることができる（ただし、見出し語ごとの表示も可能）。

画面表示には、パソコン内にインストールしてあるフォントを好みに応じて使うことができるし、文字の大きさも自由に設定できる。これはパソコンソフトならではのことである。

検索いろいろ

引き方としては、①普通に辞書を引くときのように、単語の綴りを入力してその見出し語を引く（コピー&ペーストによる入力も可能）のが基本で、途中まで入力すればその綴りで始まる候補の語が示される。また、②「後方一致」モードにすると、例えば -nalize で終わる語（G4には21語ある）を探することができる。

成句は、書籍ではどの見出し語の下にあるかの見当をつけて引く必要があるが、本ソフトでは、どこにあるかは気にしないで、③指定の単語（1語～4語指定可能）を同時に含む成句を検索することができる。

用例についても、成句と同様に、④指定の単語（1語～4語指定可能）を同時に含む用例をG4全体から検索することができる。

以上は、辞書内部に設定してあるインデックスを用いて引くものだが、表示されている文字列を最初から「なめて」いく「⑤全文検索」も可能である。これにより、G4にはYankeesは7回、Matsuiは3回出てくることがわかる。なお、③④⑤の検索では大文字・小文字は区別されない。Tigersは25回出てくるが、これは小文字始まりのtigersも含めての数字である。

（編集部 I）

すぐれた英語授業実践

——よりよい授業づくりのために

樋口忠彦／緑川日出子／高橋一幸 編著

高橋正広

(神奈川県立大和西高等学校教諭)



本書には19のすぐれた授業実践例が紹介されているが、本書の目的はそれらの授業の素晴らしさのみを紹介するだけに留まらない。本書の主役は読者であり、読者の明日の授業に役立つようさまざまな工夫がなされている。

本書は全6章で構成されており、英語4技能に焦点を当てた授業の他、「英語で進められる授業」「文型・文法指導」なども1つの項目をなしている。それぞれの授業は、1. 本時の目標、および学年指導目標による位置づけ、2. 授業準備のプロシージャー、3. 本時の授業展開、4. 生徒の到達度評価、および授業の内省、5. 私の理想の授業、の5観点から授業者が詳細に説明している。どの章から読み始めても構わないが、是非じっくりと一つ一つの教案を読み、「実際のこの授業は、ビデオではどう映っているのか」「自分が授業者なら自分の生徒の反応はどうか」など、イメージトレーニングの題材としてほしい。読み進むうちに、「こんなアイデアもあるのか」と新鮮な驚きがあるかもしれないし、「本当にここに紹介されている授業で効果があるのだろうか」と疑問を持つかもしれない。紹介された授業について、読者に自由な感想を持ってもらうために、授業者の名前には冒頭には出てこない。そして、授業者による説明の後に授業分析者のコメントがあるが、これがすごい！指摘するところはズバツと指摘している。「分析者にはこの課題の理由が判然としない」「運営方法に工夫が求められる」など、厳しい表現が見られる部分もあり、参考にすべきすぐれた点と、改善すべき点から授業が「斬られて」いる。

教案は授業者によって分かりやすく解説されてお

り、必要に応じて、クラスルーム・イングリッシュや実際に取り交わされた先生と生徒の対話も紹介されているので、授業の様子が生き生きと伝わってくる。

本書にある19の授業は全て読者のものであり、どのように自分の授業で活用するかも自由である。ただし、1年後または3年後の大きな目標から明日の授業を考えることは本書の全ての授業例に共通している。そのため、学年または3年間の目標を視野に入れ、毎日の授業がその中でどこに位置するのかを常に考えるようにしたい。そして、どの授業者も日々努力し、私たちと同じように悩んでおり、本書を通じてお互いが切磋琢磨する仲間が増えればという編著者のメッセージも心に置きたい。

英語ジョーク見本帖

丸山孝男 著

豊田一男

(筑波学院大学教授)



本書はジョークをテーマ別・種類別に分けて様々なジョークを紹介する、前著『英語ジョークの教科書』の続編とでもいえるべき書物で、「見本帖」とは言い得て妙といえる。ジョークの世界では定番の「先生と生徒」「ことば遊び」「親と子」「ノック・ノックジョーク」「レストラン・ジョーク」「よい知らせ・悪い知らせ」「エレファント・ジョーク」「一口ジョーク (one-liner)」などなど、ジョークの見本が次々に登場する。一般読者を対象とする本書だが、英語教師を意識して、教室で安心してすぐに使える短いジョークが数多く取り上げられている。しかも、こなれた和訳だけでなく、著者の人生哲学を感じさせるコメント、コラムが随所にあり、著者との対話を楽しむこともできる。

前著との違いで目に付くのは各章の終りの「ジョークのオチを考えてみよう」のコーナーである。初級・

中級・上級とあることで読者の「ジョーク理解力」が試され、いつも試験をする側にいる教師が試験される側になり、巻末の解説を生徒になった気分で読むことになる。全問正解者はジョーク理解力抜群のお墨付きを頂けそうである。

ジョークの理解は必ずしも容易ではない。著者が前著でも述べているように、音声的な側面だけでなく、歴史、伝統、文化、慣習、ことわざ、などの背景的知識があってはじめて笑えるからである。

What do you send a sick florist?

あなただったら、病気の花屋さんになにを送りますか？

言うまでもなく、病気のお見舞いには花を贈るという習慣を知らなければ笑えないことになる。

また教室での英文法の説明に使えるジョークも少なくない。

A yawn is silence with the mouth wide open.

あくびは口を大きく開けた沈黙である。

いわゆる「with 構文」の文例として使える。著者はこれに「教師ならば、授業中に大声で言ったり、板書したいジョークです！」というコメントも忘れない。

ジョーク理解のコツを会得し、「教育の現場に笑いの渦を！」という著者の願いを実現するためにも、ジョークを「人生の指南書」とするためにも、本書によって、「ジョークのシャワー」を浴びてみることをお勧めしたい。

根本理解！ やり直し英文法

鈴木寛次／三木千絵 著

萩野俊哉

(新潟県立新潟南高等学校教諭)



魅力的な本です。その理由を4点挙げます。

①本書は主な文法項目20章から成ります。それぞれに

「初級文法」、「中級文法」、「発展文法」とレベル分けして解説がなされています。まずは各章の初級編のみざっと通して読んで文法全体の基礎を確認するもよし、また、各章ごとに順にレベルを踏んで理解を深めるもよし、あるいは自分の読みたいレベルのみをピックアップするもよし。とにかく使い勝手がよるしい。

②英語の「通時的」(英語の時代的变化に焦点を当てる)考察を縦糸に、そして、「共時的」(現代のヨーロッパ諸語の中での英語の位置付けに焦点を当てる)考察を横糸にして織り成した、奥行きと広がりをもつ内容が随所にあります。

たとえば、「時制」の章の「発展文法」において、進行形の由来についての記述があります。それによると、現在のヨーロッパ言語に、英語と同じような進行形をもつ言語はなく、歴史的に見て、進行形はいわば突然変異のように英語に登場し、特に17世紀頃に驚くべき速さで広まった、といえます。そして、英語の進行形「be+~ing」の“~ing”は歴史的にもととは動名詞であったという説、あるいは、今日でもアイルランドでは本来必要のない進行形を使って、動作の強調、臨場感を出すこともある、ということなどが紹介されていて、読んでいて思わず楽しくなってしまいます。それはきっと、「ああ、ことばってやっぱり生きているんだ」ということを実感し、ことばのもつ力強さや生々しさが伝わってくるからに違いありません。これは本当に重要なことだと思います。

③説明がコンパクトでわかりやすい。くどくない。これはありがたいことです。余計な「脂肪」や「贅肉」を削ぎ落として、ポイントをズバリ述べる。なかなかできないことです。時間をかけて推敲を重ね、磨き上げてきた文章であり、内容であるということが読み込めば読み込むほどよくわかります。

④ユーモアがあります。たとえば、皆さんはふだん英語を教える身として、生徒には次の日本語をどのような英語に直させていますか。

「もし明日雨が降れば、私は外出しない」

本書ではこの答えとして4通りが紹介されています。何とそれらは…、おや、もう紙幅が尽きました。答えがお知りになりたい方は、どうぞ本書第16章「仮定法」の「発展文法」のページをお読みください。

大修館書店の本

Books from Taishukan

◆「なぜ英語をやるのか？」を考えます

日本人にとって英語とは何か

大谷泰照＝著

(四六判・304ページ・定価1890円)

◆構文・意味・用法の異同を多数の用例で解説

英語類義動詞の構文事典

小野経男＝著

(A 5判・256ページ・定価2100円)

◆約1万の例文と誤用例文で正しい使い方がわかる

明鏡ことわざ成句使い方辞典

北原保雄＝編著

(B 6判・658ページ・定価2520円)

英語教育 '07年10月増刊号

【特集1】声に出して読みたい英語—暗唱・音読教材にぴったりの名句名言。その他、特別記事や学会案内等資料満載！

(B 5判・128ページ・定価1500円)

(定価＝本体価格＋税5%)



お知らせ



『G.C.D.英語通信』は先生方と小社英語教科書編集部との意見・情報交換の場です。小社英語教科書についてのご質問，お使いいただいた感想などを小誌編集部宛にお寄せください。「GCD教科書 Question Box」で随時ご紹介・ご回答してまいります。

また，小社教科書を使った授業の紹介などのご投稿をお待ちしております。ご投稿は郵便でお送りください。採用分には薄謝をお送りいたします。(採用・不採用にかかわらず原稿はお返ししません。)

なお，小社ホームページ「燕館」には別館「GCD English Teacher's Room」を設け，小社教科書の内容をご案内しているほか，英語の先生方に役立つ様々な情報を提供しております。小誌のバックナンバーもご覧いただけます。ぜひご活用ください。

<http://www.taishukan.co.jp/gcdroom/>

◆営業便り◆

▶平成20年度用教科書の注文書が全国の高等学校から多数到着致しました。御採択いただきました先生方に，改めて御礼申し上げます。各教科書には，準拠の「ワークブック」を発行しております。お問い合わせは，小社販売部もしくは最寄りの小社営業所までご連絡ください。

▶昨年発行致しました、『ジーニアス英和辞典 第4版』“G4” (定価3465円) はおかげさまで大変多くのご評価を頂き，全国多数の学校よりご採用・ご推薦を頂きました。“G4”をご愛用頂いております先生方におかれましては，辞書の中身に関するご質問・ご指摘を今後ともお寄せ頂きたいと存じます。

▶一昨年のベストセラーで話題となりました『問題な日本語』の第3弾，『問題な日本語その3』(定価840円) がいよいよ11月下旬に発刊されます。また，『問題な日本語番外 かなり役立つ日本語ドリル②』(定価893円) 『問題な日本語番外 かなり役立つ日本語クロスワード』(定価840円) も同時に刊行されます。日本語ブームの原点とも言えるこのシリーズを是非とも書店にてご覧下さい。

◆編集後記◆

▶今号の野村先生の記事中に「辞書を一冊ぼろぼろに…」の説が紹介されています。辞書をぼろぼろにすることは私にも思い出があります。高校入学当初，英語の先生から，まず辞書の本紙をしわくちゃにしてしまうことを教わりました。そうすることで紙の間に隙間ができ，辞書が開きやすくなるとのこと。私はその日の内に早速実行，約2千ページ全てを畳んでは伸ばしていきましました。一度始めたらやめられず深夜までかかって，アコーディオンのような姿の，置くだけで勝手に開く辞書に仕上げました。なんだか辞書に貫禄が出たようで，それだけで私は英語を勉強したような気にさせられました(これがこの技法の「難点」でしょうか)。そのような「苦労」をした辞書だからか，今でも故郷の机の上にはその辞書が置いてあります。

▶私の例と一緒にするわけにはいきませんが，大下先生の記事にもあるように，使い込んだ辞書の姿はそれだけで自身の勉強への自信につながると思われれます。今後も先生，生徒の皆さんにぼろぼろにいただける辞書作りに編集部一同励みたいと思います。(葉)

Genius・Captain・Departure

英語通信

第42号

2007年11月1日発行

(年2回発行)

【出版情報】<http://www.taishukan.co.jp>

編集人 ©「G.C.D. 英語通信」編集部

発行人 鈴木一行

発行所 株式会社 大修館書店

101-8466 東京都千代田区神田錦町3-24

Tel. (03)3294-2355(編集部) / (03)3295-6231(販売部)

振替 00190-7-40504 印刷・製本 文唱堂印刷株式会社